

2023年6月21日

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会

## 第18回(2023年度)通常総会

仲宗根幸子理事長 開会の挨拶

本日はこのように多くの会員の皆様にご参加いただき、第18回通常総会が開催できますこと、そしてこうして直接皆さまの顔を拝見できることを大変嬉しく思っております。また同時にオンラインでご参加いただいている多くの皆さまにも厚く御礼申し上げます。

長いコロナ禍で私たちも大変な生活を強いられてまいりましたが、今年の5月8日に新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行したことで、今後の活動が、より積極的に、そして今までできなかったことを現実に取り組んでいけるようになりました。

ただ、あまりにもコロナ禍が長かったために、業界、そしてビジネス全体が落ち込んで、今も本当に大変な状況だと思います。そこを乗り越えて行くためには、まず今までやって来られなかった小さな目標を、努力を重ねて一つずつ達成し続けていくことで、明るい期待を持てる“ネイルの未来”につながると思います。

しかし、この生活が以前のままだと戻るかという、そうではありません。コロナ禍を経て“新しい生活習慣”が始まり、それに向けて新しいことを考えて行かなければなりません。それに向けてビジネスをどの様に変えていくべきなのか？ そのような課題があると思います。

私たちの業界は、これまで、会員の皆様をはじめ多くの方々と一緒に作り上げてきたという実績があります。そして、新しいものを求めるブルーオーシャンという新しい市場を、その実績をもとに新たに開拓していく必要があると思います。

これから私たちは、ネイルの発展のための積極的な活動をお約束します。この総会では12委員会の委員長から、今期の活動についての発表がありますが、これもただ発表するだけではなく、現実のものにしていく必要があるという協会の責任を感じております。これまで皆さんと一緒にコロナ禍を乗り越えて来たわけですから、これからも、ご苦勞を共にさせていただくこともあると思いますが、一緒に手を取り合って活動していきたいと思っております。

最後になりますが、本当にこのコロナ禍に突入した時は、当協会もどこにトンネルの出口があるのかと、手探りで一筋の光明を目指して歩いてまいりました。その時に、やはり一緒に歩いてくださったのは、会員の皆さまでした。役員一同、会議を行なっても、「会員の方の生活はどうなんだろう。」「会員のために何ができるだろう。」と、個人の仕事をさておき、会議の議題にその都度上っておりました。そして、会員の皆さまも私たちと離れることなく、一緒にトンネルを突き進んでいただいて、ようやく出口への光明を見出し、今日ここに総会が開催されたわけです。

そのことについて、本当に礼をつくす言葉が見当たらないほど私は感謝しております。今日の総会がこれからのネイルビジネスの未来につながりますように、役員一同、そのような覚悟で臨んでまいりますので何卒よろしく願いいたします。

今日はご出席賜りまして、誠にありがとうございました。